

# 海洋環境の変化に適応するための 沿岸漁業環境情報収集アプリケーション(FishGIS)

生産

実証

品目:水産

資源管理

## 概要

海洋環境の変化に適応し、持続的な漁業を実現するため、沿岸漁業環境の情報を収集・共有するアプリケーションを開発した。現場の漁業者は、スマートフォンから漁獲物や海色等の画像と撮影地点の位置情報を報告することで、気候変動に伴う海洋環境や漁獲物の変化と、その兆候を関係者間で迅速に共有できる。

## 背景・効果・留意点

近年、世界的に海洋環境が大きく変化しており、漁獲物の魚種組成にも変化がみられるようになっている。海洋環境の変化に対して柔軟に適応し、持続的な漁業を実現するためには、海域生態系の変化・兆候を感知し、その情報を関係者間で迅速に共有することが重要である。そのため、水産研究・教育機構(日本)・カナダ・中国・韓国・ロシア・アメリカ合衆国の研究者によって構成される研究チームは、農水省ODA拠出金によるPICESプロジェクト「国際的な資源管理ネットワーク構築に向けた現場対応型漁業モニタリング・資源評価システム開発事業」を通じて、沿岸漁業環境情報収集アプリケーション(図1)を開発した。本アプリケーションにより、現場の漁業者は、漁獲物画像から魚の体長分布データ(図1左)、そして、海色画像から海洋環境データ(図1右)を収集し、報告結果を地域の関係者(漁業者グループ、行政官等)と共有できる。このように、本アプリケーションは、東南アジアの水産資源評価・漁業管理の取り組みを促進するツールとして有用と考えられる。



図1 FishGISの使い方

## 技術の詳細



<https://meetings.pices.int/projects/FishGIS>

<https://meetings.pices.int/projects/Ciguatera>

<https://apps.apple.com/jp/app/fishgis/id1550904014>

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.gfken.fishgis>

## 問い合わせ

[techcatalog@fra.go.jp](mailto:techcatalog@fra.go.jp)

国立研究開発法人  
水産研究・教育機構



北太平洋海洋科学機関

